

平成 30 年度

特別養護老人ホームしらいわ

事業報告書

特別養護老人ホームしらいわ
デイサービスセンターしらいわ
しらいわ居宅介護支援事業所

社会福祉法人 悠々会

1. 特別養護老人ホームしらいわ

はじめに

平成18年10月に開所し約12年が経過し、平成24年4月には入居30床、ショート10床の増床が完成し100床の施設となった。

平成29年6月にショート 20 床を全て特養(ホーム)への転用を行い100床すべて特養(ホーム)の施設となった

平成27年度に介護保険法の改正があり、特養入所要件が要介護 3 以上となりましたが、要介護 1, 2 でも特例入所として緊急性や必要性を重視し入所に努めました。その他、山形県及び寒河江市特別養護老人ホーム入所指針に基づき、入所申込み順番以外でも緊急性や必要性を重視した入所優先順位を合議決定するため入所検討委員会を設置し、計画的な入所に努めた。

1. 入所状況の推移

① 入所サービス事業の稼働率の確保

入所定員 100 名に対し、年間を通して 97%の稼働率となった。

表 1 入所サービス稼働率の推移 p 7

表 2 性別年齢別分布・要介護度表 p 8

2. 事業計画の達成状況

① 研修への参加実施による職員の意識向上について

職場外研修については、12ページに記載のとおり、多岐にわたる研修に派遣を行うとともに積極的に参加を促すことができた。しかし、昨年度は施設見学も予定していたが、経口維持加算算定を学ぶため市内の施設への見学は行えなかったが、職員教育という点で他県への職員派遣などは実行に至らなかった。

職場内研修においては主にリーダー会議を中心に検討の他、毎日の朝礼において豊岡Drの指導のもと、介護・医療・調理など各部署の職員を個人教育を実施した。

② 職員の各係活動について

各係長を中心に日常の介護業務が滞らないように活動することができた

③ 入所待機者処遇について

スムーズに入所するよう待機者調査を実施していたが、介護職員不足によりH31、1月より約2か月間5床を閉鎖し95床で運営した。職員の配置の工夫や職員教育を行うことで3月より再開
(7ページ稼働率の推移参照)

④ 資格取得について

ケアマネージャー、介護福祉士の養成について内部で模擬テストの実施や資格取得助成金を支給。新たにケアマネージャー1名、介護福祉士4名が合格した。また、資格のない職員について、奨学金制度を利用し1名が初任者研修の資格を取得できた。

⑤ 施設内感染予防対策について

感染症予防マニュアルの活用の他、薬液による施設内清掃や近隣の感染状況の把握と感染予防を目的とした面会謝絶の期間を設けたが、利用者 18 名、職員 3名 が罹患した。ただし、感染に伴う死去など重篤にいたるケースは無かった。

3. 精神生活の充足活動

入所者の障害の軽減ないし克服を目指し機能回復訓練、行事、レクリエーションなどの実践によって得られる精神的・身体的充足は大きなものである。

① 生活リハビリの実践

生活の全てがリハビリの視点に立ち、日常生活の中で自分のできる範囲のことは、極力自立支援の気持ちを持ち、危険の無いよう見守りと最低限の介助を行ない、生活リハビリを実践した。

② レクリエーションの充実

なかなか外に出る機会のない入所者をドライブ、散歩等に連れ出し、外の空気に触れる機会をつくった。また、季節を感じれるようなお茶会やドッグセラピーを実施し入所者の心身の充実に努めた。

③ 理美容の実施

施設内に理容室を整備し、理容業者有志の積極的協力を頂き、毎週月曜日及び随時対応の実施を行った。

4. 健やかな身体維持の確保

入所者の重度化が進んでいる中で、施設における医療は不可欠なものとなっている。心身の安定を図るためにも、施設看護師はその健康管理が重要であり、医療機関との円滑な連携を図りながら早期の治療に努めた。

(1) 診療体制の確保

① 協力病院との緻密な連携

入院治療を必要とする場合の協力病院として、山形県立河北病院及び寒河江市立病院に協力を依頼し、入院治療の体制を確保している。

表 4 入所者入院日数 p 10

② 主治医定期検診及び往診診療の確保

内科週二回、精神科月二回の定期日以外も必要に応じ、その他の診療科目も含め随時、適時の診療確保に努めた。

表 5 主治医診察(回数) p 10

表 6 往診及び受診(外来)ホーム p 10

③ 水分補給の徹底

尿路感染症対策及び脱水症の防止は、高齢者の健康維持に最低限の必要不可欠事項であり、当施設においては、個別的対応にて毎日の水分量にプラス、コップ一杯分(約200cc)を目安に提供することにより適切に脱水予防に努めた。

④ インフルエンザ、胃腸炎等の感染症予防対策の強化

県内外の感染症流行状況について保健所情報を確認しながら、手洗い、マスクの着用を徹底し、外部(職員・面会者)者からの感染防止に施設全体で取り組み、さらにインフルエンザ対策として、本人および身元引受人の承諾のもと、入所者に予防接種を実施し施設入所者の感染の防止に努めた。また、感染予防として外部面会禁止等の措置を実施したが職員2名、利用者18名が罹患。ただし感染に伴う死去など重篤化することはなかった。

表7 週間予定表 p 11

表8 状況報告 p 11

5. 楽しい食生活をめざして

食べ物を楽しい気分でおいしく食べていただくため、行事食等を取り入れ、適時適温の食事を提供すると共に、環境にも配慮し喜ばれる食卓づくりに努めた。

更に、安心して食べていただくために、新鮮な食材を購入し、調理作業工程に最善の注意を払いながら食中毒予防に努めた。

また、標準体重、年齢から適正カロリーを計算し、各個人にあったカロリー提供に努めた。

① 利用者に合った食事形態の実施

見た目にも食欲が出るような盛り付けを目指し、ミキサー食、軟菜食、常食の3形態にして継続的に実施した。

軟菜食は何の料理かわかるようにある程度形が残り、やわらかく飲み込みやすい料理に仕上がるように、素材の選択と調理に工夫をした。

② 変化に富んだ食事の提供

- ほとんどの入所者が好物であるぼた餅料理を毎月2回実施し、また最も食中毒の発生しやすい時期を除き、刺し身、寿司を提供した。
- 通所介護において、利用者自らがメニューを選ぶ選択食も実施した。
- その他、旬の素材を利用した献立を取り入れると共に、地区のお祭りを始めとして、3月の彼岸まで、年間行事に合わせた献立を提供した。

③ 他職種との連携

介護・看護など他職員との密接な連携のもとに、入所者の健康状態の変化に合わせ、随時適時に食事の量及び献立内容の変更を行ない対応に努めた。

また継続的な取り組みとして、嚥下障害を持つ入所者が、できる限り口から食事を摂取するという人間本来の楽しみを維持し経管栄養に頼らないような個別の取り組みを行い生活の質向上に努めた。

④ 衛生管理の徹底

調理器具の殺菌、厨房内の清掃を徹底的に行い、食中毒防止のため細心の注意を払うと共に、献立内容及び食材を吟味し、勉強会を実施するなど安全な食事提供に努めた。

6. 施設強化事業

業務運営方針に基づき、施設入所者の処遇向上及び環境整備のみならず、施設職員による適切な職場環境の保全整備を含め、あらゆる面からの支援に努めた。

(1) 災害時の対応について

地域消防団及び西村山広域行政事務組合消防署の積極的な協力体制のもと計画的に防災訓練を実施した。9月3日、3月15日

また、村山地区の高齢者施設間の災害時施設相互応援協定を締結し、災害時における施設間の連携体制を整えた。

(2) 職員の確保について

施設見学会や就職説明会の開催・参加のほかハローワーク等の関係機関を定期的に訪問し新職員の確保に努めた。また、福祉人材センターの依頼で福祉のしごとフェアの開催も実施した。

(3) 職員研修について

職場にとって、人材育成が最重要項目であり、山形県社会福祉研修所及び山形県老人福祉施設協議会主催の外部研修を中心に職員を派遣し、基礎知識の習得に努めた。

また、看護師をたん吸引等の指導者研修に派遣し、職場外の研修でも指導看護師として介護員の指導にあたった。

表9	研修状況報告書 職場外研修	p 12
	同上 職場内研修	p 13

(4) リスクマネジメントの実施

一つ一つの事故を詳細に分析し、今後同じような事故を起こさないよう、リスクマネージャーを中心に原因究明と今後の予防について、職員に周知徹底を図った。

また、朝礼、介護検討等において、事故の再現、検証を行い、職員全員で再確認する様努めた。

(5) 実習・研修の受入れについて

老人福祉施設に働く人材育成ならびに現施設職員の自己啓発の意識向上の一環とし積極的に実習生の受入れを行い、現場にも良い影響を受けた。

表10	実習受入状況	p 13
-----	--------	------

入所サービス稼働率の推移

平成30年度

表1

	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム			
	利用者 数(a)	利用日 数(b)	稼働可能 日数(c)	利用率 (b/c)
4月	101	2,983	3,000	99.43
5月	102	3,036	3,100	97.94
6月	100	2,988	3,000	99.60
7月	100	3,095	3,100	99.84
8月	100	3,081	3,100	99.39
9月	100	2,911	3,000	97.03
10月	101	3,029	3,100	97.71
11月	100	2,928	3,000	97.60
12月	99	2,994	3,100	96.58
1月	97	2,896	3,100	93.42
2月	96	2,642	2,800	94.36
3月	98	2,893	3,100	93.32
合計	1194	35,476	36,500	97.19

性別年齢別分布・要介護度表

表 2

年齢別分布表

平成31年3月31日現在

(イ)

性別	年齢						合計
	～64	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	
男性	0	1	1	16	4	1	23
女性	0	0	3	32	33	5	73
合計	0	1	4	48	37	6	96
比率(%)	0.0	1.0	4.2	50.0	38.5	6.3	100.0
80歳以上						94.8	%

平均年齢

(ロ)

平均年齢	平均年齢	
	男性	86.5
	女性	90.0
合計	89.2	

要介護度別分布表

(ハ)

要介護度	人数	比率(%)
要介護 1	0	0.0
要介護 2	0	0.0
要介護 3	18	18.8
要介護 4	47	49.0
要介護 5	31	32.3
合計	96	

81.3%

平均介護度 4.1

平成30年度特別養護老人ホームしらいわ行事報告

表3

月	日	行 事 ・ 会 議	内 容
4	1～ 17～ 20 22 24	入所者健康診断 観桜会 誕生会 家族会総会・交流会 桜餅作り	100名 長岡山 琴操会（大正琴演奏） 34家族34名 多目的ホール
5	7～ 8 9 24 25～ 29 30	園芸活動（苗植え） 賀詞贈呈式 清拭タオル縫いボランティア 誕生会 つつじ鑑賞 お茶会 買い物レク	ユニット行事 百寿4名 高松地区婦人会 5名 永山彩子（ピアノ演奏） 長岡山 ユニット行事 ユニット行事
6	1 7 17～ 20 26	ドッグセラピー 清拭タオル縫いボランティア お茶会 山形県輪投げ大会 誕生会	各ユニット巡回 白岩地区婦人会 4名 ユニット行事 総合運動公園 2名 藤好会（日本舞踊）
7	4 11 11 13～ 26	七夕短冊づくり 清拭タオル縫いボランティア 打楽器演奏会 喫茶会（かき氷） 誕生会	ユニット行事 高松地区婦人会 4名 ユニット行事 ユニット行事 つくしんぼコーラス（合唱）
8	8 16～ 16～ 24 29	しらいわ・さがえ盆供養（洞興寺住職 光学院住職） アロマリラクゼーション 喫茶会 誕生会 ドッグセラピー	しらいわ(8家族10名参加)さがえ（3家族4名） ユニット行事 ユニット行事 流れ星会（津軽三味線） 各ユニット巡回
9	6 12 26 29	誕生会 清拭タオル縫いボランティア 喫茶会 バスハイク（秋桜鑑賞）	アスポーツさがえ（フラダンス） 高松地区婦人会 5名 ユニット行事 ユニット行事
10	3～18 9 16 8～21 26	バスハイク（秋桜鑑賞） 買い物レク 賀詞贈呈式 喫茶会 誕生会	ユニット行事 ユニット行事 百寿4名 白寿3名 米寿5名 ユニット行事 琴操会（大正琴）
11	15 21 22 28	食事前エプロン補修ボランティア ボーリング大会 誕生会 ドッグセラピー	白岩地区婦人会 4名 ユニット行事 永山彩子（ピアノ演奏） ユニット行事
12	12 23～24 20	クリスマスリース作り クリスマスツリー飾り付け 誕生会	ユニット行事 多目的ホール つくしんぼコーラス（合唱）
1	ユニット毎 30	誕生会 書初め	各ユニットにて実施 ユニット行事
2	5 ユニット毎	節分豆まき 誕生会	各ユニット 各ユニットにて実施
3	22 20 26	誕生会 チョコフォンデュ 桜餅作り	大沼さんご家族（歌謡舞踊） ユニット行事 多目的ホール

入所者入院日数

表 4

(平成31年3月31日現在)

月	人数	入院日数	月	人数	入院日数
4月	0	0	10月	4	30
5月	0	0	11月	2	17
6月	0	0	12月	2	34
7月	0	0	1月	2	18
8月	1	8	2月	1	3
9月	4	92	3月	2	28

表 5

主治医診察(回数)

(平成31年3月31日現在)

科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	診察人数	1988	2058	2092	2096	2287	1745	2151	2047	1928	1871	1788	1867	23918
	診察回数	20	21	21	21	23	18	22	21	20	21	19	20	247
精神科	診察人数	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	51
	診察回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	診察人数	1992	2062	2096	2100	2292	1750	2156	2051	1932	1875	1792	1871	23969
	診察回数	22	23	23	23	25	20	24	23	22	23	21	22	271

表6

往診及び受診(外来) ホーム

(平成31年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
皮膚科													0
内科	1	1	2	3		1	2	3	2	1		1	17
脳外科													0
眼科		2		1			1	2				1	7
歯科	6	8	1	2	5	8	2	3	3	3	1		42
整形	1	2	7	4	6	7	8	7	7	11	12	5	77
耳鼻科													0
外科						1		1		1			3
泌尿器科	2	2	3	2	3	1	2	3	2	3	2	2	27
神経内科													0
婦人科					1						1		2
放射線科						1		1	1	1			4
精神科	1			1	1								0
計	11	15	13	13	16	19	15	20	15	20	16	9	179

週間予定表

表 7

曜日	業務内容
月	血糖測定
火	処方薬整理
	血圧測定
水	定期処方箋
木	3か月に1回 DM、バルプロ酸、ジゴキシン、電解質採血
金	第一、三週 精神科回診(小関Dr)
	定期処方箋、隔週小原病院分
土	回診車整理、材料滅菌
	医務室清掃
日	第1体重測定。低栄養ハイリスク者は第3も実施

状況報告

表 8

月	内容	月	内容
4月	入居者健康診断	10月	職員インフルエンザ予防接種 入居者健康診断(採血)
5月		11月	入所者インフルエンザ予防接種
6月		12月	
7月		1月	
8月		2月	
9月	介護員 健康診断(夜勤者のみ)	3月	全職員 健康診断

職場外研修

	研修名	月日	主催者	参加者数
職場外研修	介護認定審査委員及び認定調査員新規研修	4月15日	山形県長寿社会政策課	3
	地域ケア会議	4月17日	寒河江市	1
	機能訓練指導員研究会	4月20日	村山地区連絡会	1
	安全衛生管理説明会	4月27日	山形市	1
	介護保険関連事業所連絡会・総会	4月27日	寒河江市	3
	山形県老人福祉施設協議会総会	5月10日	県老施協	2
	キャラバンメイト連絡会	5月11日	寒河江市	1
	主任介護支援専門員連絡会	5月11日	寒河江市	1
	山形県生活相談員研究会第1回定例会	5月23～24日	県老施協	1
	喀痰吸引等研修	5月28、29日・6月5、12、18、19、22日・7月9、10、11日	県老施協	2
	山形県主任ケアマネ更新研修	6月4、6、19、20、21・7月4、	県老施協	1
	災害時施設総合応援協定全体会議	6月15日	村山地区特養ホーム	1
	地域ケア会議	6月19日	寒河江市	1
	山形県集団指導(デイサービス)	6月27日	山形県	1
	特養部会前期介護職員研修会	6月27～28日	県老施協	1
	山形県集団指導(ホーム)	6月29日	山形県	1
	福祉会計簿記入門講座	7月3日	総合福祉研究室	1
	山形県主任介護支援専門員更新研修	7月4日	ケアマネ協会	1
	介護支援専門員職員研修会	7月12日	寒河江市包括	4
	喀痰吸引等研修事業講師派遣	7月13日	県老施協	
	地域ケア会議	7月17日	寒河江市	1
	デイサービス職員研修会	7月20日	県老施協	1
	ネットワーク研修会	7月24日	訪問看護ステーション	3
	介護保険関連事業所研修会	7月26日	スマイルネット	1
	ケアマネ更新研修	8月7～9日・9月10～13日	ケアマネ協会	1
	ユニットリーダー研修	8月7～9日、9月4～7日	山形県	1
	地域ケア会議	8月21日	寒河江市	1
	山形県生活相談員研究会第2回定例会	8月22日～23日	県老施協	1
	キャラバンメイト連絡会	8月23日	寒河江市	1
	主任介護支援専門員連絡会	8月23日	寒河江市	1
	機能訓練員研究会	8月27日	村山地区連絡会	1
	ケアマネ更新研修	9月3～5日	ケアマネ協会	1
	まちかど介護相談事業説明会	9月7日	寒河江市	1
	施設ケアマネ研修	9月12～13日	県老施協	1
	特養部会施設長研修会	9月26～27日	県老施協	1
	認知症見守り声掛け訓練	9月28日	寒河江市	1
	ケアマネ専門研修	10月2～3、10、12日	県老施協	1
	県社会福祉振興会事務担当者研修会	10月10～11日	県老施協	1
	県認知症キャラバンメイト要請研修会	10月10日	全国キャラバンメイト連絡協議会	1
	デイサービス生活相談員研修会	10月11～12日	県老施協	1
後期看護研究会	11～12日	山形県	1	
特養部会栄養士研究会	10月18日	県老施協	1	
まちかど介護相談事業研修	10月18日、11月8、22日、12月6、1	寒河江市	2	
特養部会生活相談員研究会	11月8～9日	県老施協	1	

働き方改革関連法説明会	11月16日	山形労働局	1
年末調整説明会	11月21日	山形税務署	1
介護支援専門員研修における実習受け入れ説明会	11月21日	県長寿社会課	1
通報備蓄調達訓練	11月22日	村山地区	1
西村山管内特養ホーム施設長会議	11月28日	西村山特養ホーム	1
デイサービス村山ブロック研究会	12月14日	県老施協	3
地域ケア会議	1月15日	寒河江市	1
地域包括ケアに係る医療・介護合同会議	1月18日	県村山保健所	1
特養部会村山地区施設長会議	2月4日	県老施協	1
寒河江市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク協議会	2月6日	寒河江市	1
地域ケア会議	2月19日	寒河江市	1
寒河江市関連事業所連絡会	2月22日	寒河江市	4
災害時施設相互応援協定防災訓練	3月8日	村山地区相互応援協定	1
特養部会栄養士研究会役員会	3月8日	県老施協	1
介護支援専門員更新研修講師派遣	3月12日	県老施協	1
主任介護支援専門員連絡会	3月19日	寒河江市包括	2
地域包括ケアに係る医療・介護合同会議	3月26日	県村山保健所	1
キャラバンメイト連絡会	3月26日	寒河江市包括	2

職場内研修

職場内 研修	研修名	月日	場 所	参加者数
	リーダー会議	4月12日	多目的ホール	15
	身体拘束適正化研修会	6月27日	多目的ホール	27
	介護検討会	7月31、8月1日	事務室	13
	経口維持加算検討会議	10月22日	事務室	11
	インフルエンザ対策会議	2月14日	事務室	8
	全体会議(看取り・身体拘束適正化研修)	1月8日	多目的ホール	46
	介護検討会	3月28日	事務室	9

実習受入状況

平成30年度

表 10

実習期間	依頼機関	人数	内容
5月15日～5月25日(土、日除く9日間)	山形県立山辺高等学校	3	2年介護実習(デイ)
6月18日～6月29日(土、日除く10日間)	山形県立山辺高等学校	2	2年介護実習(ホーム)
10月1日～10月5日(5日間)	山形県立山辺高等学校	2	1年介護実習(ホーム)

2. デイサービスセンターしらいわ

1. 利用実績

デイサービス利用状況

表 11～13 各月利用実施状況 p 15

表 14 介護度別利用状況 p 15

① 指定居宅介護支援事業所及び関係機関との連携

当法人の居宅介護支援事業所をはじめ、他事業所の居宅介護支援事業所及び各市町村の包括支援センターなど関連機関と密に連携を取り介護保険制度の啓蒙に努めた。

2. 各種サービスの充実

社会環境及び身体状況を含む多様化した利用者ニーズをケアマネージャーや家族からの情報を活用して的確、迅速に把握することによりサービスの充実に努めた。

- ① 機能訓練指導員・理学療法士を継続して配属し、利用者の身体状況、精神状況に合わせて個別の計画を立て、機能訓練を実施。利用者の心身の機能維持・向上に取り組んだ。
- ② 多様化したニーズ(利用日の移動や複数回数利用等)に対し、随時個別に対応した。
- ③ 行事予定、しらいわの近況、介護保険の連絡事項などを連絡帳等を通して利用者本人および介護者との連絡を密にし、開かれた施設を目指し情報提供に努めた。
- ④ マイクロ波温熱器、ウォーターベッド等の物理療法機器を導入し、嘱託医、看護師の指導の下利用者へ使用し、機能訓練や余暇活動時間の有効活用に努めた。
- ⑤ 食事について、食べる楽しみだけでなく、目で見て選ぶ楽しみを感じてもらえるように主食及び副食の選択食を実施し、施設にいながらも外食気分を味わってもらえるような食事提供に努めた。

デイサービス利用状況

各月利用実施状況

表 11

平成30年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	実施日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308
	実利用者数	53	56	51	54	50	53	52	53	50	49	47	43	611
	延べ利用者数	438	455	440	452	469	447	487	442	425	420	365	425	5265
	1日平均利用人数	17.5	16.9	16.9	17.4	17.4	17.9	18.0	17.0	17.0	17.5	15.2	16.3	17.1

表12

平成30年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防通所介護	実施日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308
	実利用者数	12	15	14	14	15	14	14	13	14	13	14	14	166
	延べ利用者数	47	63	62	63	77	61	72	65	68	64	66	78	786
	1日平均利用人数	1.9	2.3	2.4	2.4	2.9	2.4	2.7	2.5	2.7	2.7	2.8	3.0	2.6

表13

デイサービスの 一日平均利用者数	19.4	19.2	19.3	19.8	20.3	20.3	20.7	19.5	19.7	20.2	18.0	19.3	19.7
デイサービスの 新規利用者数	4	6	0	3	1	1	1	1	1	2	0	2	22

介護度別利用状況

表 14

	男	女	合計	比率(%)
事業対象者	0	5	5	8.3
要支援1	0	4	4	6.7
要支援2	0	5	5	8.3
介護度1	3	9	12	20.0
介護度2	7	12	19	31.7
介護度3	3	6	9	15.0
介護度4	1	5	6	10.0
介護度5	0	0	0	0.0
合計	14	46	60	100.0

平成31年3月31日現在

3. しらいわ指定居宅介護支援事業所

利用者が要支援・要介護状態となった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう配慮するとともに、利用者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立って、提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は、特定の居宅サービス事業者に不当に偏することのないよう、公正中立を守ることに努めた。

また、介護予防・日常生活支援総合事業の推進に努め、要支援者や事業対象者及び家族のニーズに対応することができた。

- (1) 介護保険に関する各種相談に対し、電話相談、面接相談に応じ、保険者である各市町村との連絡調整に努めた。
- (2) 被保険者の要介護認定に係わる申請について、利用申し込み者の意思を踏まえ、必要な協力を行った。
- (3) 介護保険制度の基、ケアマネジメントの理念に沿って、利用者と各種サービスを結びつけながら、介護生活を総合的に支援することに努めた。
- (4) 利用者本人を取り巻く社会的環境と身体的機能についての課題分析を行うとともに家族の希望を取り入れながら、情報の収集に努め専門的な立場から、利用者に必要なサービスを総合的に判断し、ケアプラン作成を行った。
- (5) 課題分析、ケアプランの結果をもとに利用するサービスの内容、回数又それら提供するサービス事業所との連絡調整、担当者会議を必要に応じ開催し、モニタリングによる評価も行った。また、その記録の充実に努めた。
- (6) 利用者の自立支援、介護者の負担軽減を目的とし、常にサービスの継続的な管理と評価に努めた。
- (7) 月1回は定期訪問し、利用者・家族の状態やニーズを把握して各種サービスを紹介・提案し在宅介護を継続できるよう支援を行った。
- (8) 地域包括支援センターと連携し新規ケースや困難ケースへの取り組みに努め、寒河江市主催の連絡会や地域ケア会議などの各種研修にも積極的に参加をした。また、市からの認定調査依頼にも対応をした。
- (9) 主任ケアマネとして関係機関との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導が行うことができた。

・新規のケアマネージャー依頼件数

表15

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年度	4	2	2	2	1	5	2	4	2	1	6	4	35

新規依頼 月平均 2.9 件

・介護保険請求件数 (ケアマネ 4名)

表16

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年度	130	132	129	127	116	121	122	124	124	122	118	123	1488
ケアマネ 一人当たり の平均	32.5	33	32.2	31.7	29	30.2	30.5	31	31	30.5	29.5	30.7	

平均 124 件

・認定調査依頼提出件数

表17

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年度	8	9	9	11	7	12	9	5	12	10	13	14	119

月平均 9.9 件